

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 29 日

仕事の内容	幼稚園就園奨励費補助事業					
担当部署・課長名	保育	課	保育・幼稚園	係	課長名	関田 孝志

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1 - 1	-
【施策名】 学校教育の充実	総合計画書 (ページ)	31	

予算名	款 ¹⁰	教育費	項 ⁶	幼稚園費	目 ¹	教育振興費	事業 ¹	私立幼稚園保護者に対する補助事業費
-----	-----------------	-----	----------------	------	----------------	-------	-----------------	-------------------

1	この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
		私立幼稚園に幼児を通園させている、所得基準に該当する保護者。 → 幼稚園の入園児童数。	
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
		保護者が幼稚園に支払う入園料や保育料の負担を所得に応じて補助し軽減させることで、幼稚園教育の振興と充実を図る。 → 幼稚園への入園料や保育料の負担が軽減されることで、幼稚園教育を受けることができた児童の保護者数。	
		③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
		幼稚園教育の振興と充実を図るため、幼稚園に通園させている保護者に対し家庭の所得に応じて補助金を交付した。 → 幼稚園に児童が入園している保護者数。	

2	指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	人	1,027	1,001	962	/	/
		成果指標	②の数値	人	523	506	450	/	/
		目 標	②の目標値		/	/	/	/	/
			目標値設定の考え方						
		活動指標	③の数値		1,087	1,027	1,001	/	/

3	経費	事業費(実績)		円	67,322,800	67,781,600	62,539,500	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
		財源	一般財源	円	46,078,800	45,934,600	41,820,500	
			特定財源	円	21,244,000	21,847,000	20,719,000	
			(うち受益者負担)	円	0	0	0	
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5	
			所要人数(再任用)	人	0	0	0	
			職員人件費(再任用以外)	円	4,133,500	4,126,500	4,122,000	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
	事業費+人件費	円	71,456,300	71,908,100	66,661,500			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
		保護者が幼稚園に支払う入園料や保育料の負担を所得に応じて補助し軽減させることで、幼稚園教育の振興と充実を図る。昭和47年度に創設された国と市で運営している補助金で、毎年度、単年度要綱である「東大和市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱」を制定し、事業を実施している。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 補助限度額は年々増額傾向で、平成30年度は比較的所得が少ない世帯に対する補助限度額が増額されている。また、この補助金は、市で保育料を決めている幼稚園(子ども子育て支援新制度移行園)は対象にならない。

仕 事 の 内 容	幼稚園就園奨励費補助事業			
担当部署・課長名	保育	課	保育・幼稚園	係 課長名 関田 孝志

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	意見等については特になし。			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	当補助事業に係る事務時間の短縮が課題である。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	PC中のフォルダにを、実際の業務の手順になるように名前を付けて保管し、担当交代等があった場合でもスケジュールを追いかけやすいようにした。			
8 今 後 の 方 向 性	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	業務の要所要所で確認すべき事項をまとめたチェックシートなどの整備も必要である。			
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	チェックシート化したマニュアルを作成する。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	既存にあるマニュアルを改善する。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。